

環境保全を考える エコサーフカップ

九十九里浜の環境保全を目的に「第1回千葉県知事杯エコサーフカップ2008」が9月27日に一宮町東浪見の釣ヶ崎海岸をメイン会場に行われました。

この大会は、サーファーを中心にした九十九里浜の環境とまちづくりを考える市民団体「99ビーチガード」を中心とした運営委員会が主催し、タレントの要潤さんやプロサーファーを交えた環境をテーマにしたトークショーやライブ、サーフィンとボディボードのコンテストなどが行われました。



トークショーではゲストにタレントの要潤さんが登場



堂本知事、玉川町長も参加して、サーファーの皆さんと記念撮影

サーフィンのスペシャルクラスでは、大人たちを抑え、一宮小学校6年の稲葉玲王君が優勝、同じく6年の大原洋人君が4位に入賞、ボディボード女子クラスでは、一宮中学校2年の畠山美南海さんが優勝するなど一宮キッズが大活躍しました。

敬老大会が 開催されました

9月15日の敬老の日に一宮町GSSセンターで一宮町敬老大会が開催されました。今年で40回目になるこの大会に400名もの方々が参加しました。

式典では、結婚50周年を迎えられ、参加していた14組のご夫婦の紹介があり、代表として釣区にお住まいの長谷川登様、花子様にご夫婦が贈呈されました。

また、催し物として町内3保育所の園児による歌や遊戯、「竜劇隊」による芝居が披露され、皆さん舞台の催しを楽しんでいました。



結婚50周年を迎えられた長谷川 登様・花子様ご夫婦(釣区)

海岸清掃を実施 九十九里クリーンデー

長生地地区九十九里海岸クリーン対策協議会主催の海岸清掃が9月21日に行われました。

この清掃活動は、九十九里の名前にちなみ、9月19日に一番近い日曜日を「九十九里クリーンデー」として、一宮町、長生村、白子町の3町村で同時に実施されます。

当日は、一宮町だけで212人のボランティアの方々が参加し、680kgものゴミを拾い集めました。



212人のボランティアによる海岸清掃が行われました



砂浜を祭典場に向かって走る担ぎ手たち

9月13日に上総十二社祭りが行われ、町内外の各神社から出発した9基の神輿（みこし）が町内を練り歩いたあと、東浪見海岸の釣ヶ崎祭典場に集結しました。その担ぎ手の数はじつに1,000人で、男衆だけでなくサラシを巻いた女衆や子どもたちも神輿と一緒に練り歩きました。

この祭りは、平安時代に始まったとされる町の伝統行事で、千葉県無形民俗文化財にも指定されています。

また、神輿の担ぎ手が上半身裸であることから「裸まつり」とも言われています。

勇壮!!

浜辺を駆ける男たち1,000人

上総十二社祭り



格式ある上総神楽の上演

祭典場前に集結した神輿の担ぎ手たちは、海に入り、掛け声をあげながらお互いの担ぐ神輿をぶつけあって、年に一度の神々の再会を祝しました。

ほかに、玉前神社からは子供神輿5基と神馬（かんのうま）が出たほか、玉前神社境内では上総神楽も上演されました。

この日は連休の初めの日で、天気もよく、大勢の人たちが釣ヶ崎祭典場に足を運び、神輿とその担ぎ手たちの勇壮な姿に見入っていました。



参道を駆け抜ける神馬（かんのうま）



かわいいお稚児さんせいぞろい

9月10日に稚児行列がおこなわれました。

この行事は、子どもの成長を祈るため、毎年行われています。

この日は、お稚児さんの行列が午後1時に一宮小学校を出発し、町中を玉前神社まで歩きました。

神社についてお稚児さんたちは、お参りをしたあと、鶴羽神社から到着した神輿の下をくぐって無事成長を祈りました。

かわいいお稚児さん集合

稚児行列



住宅地として平均地価上昇率 2.9%全国で3位となった一宮町

7月1日現在の地価調査が発表され、一宮町は全国でも屈指の地価上昇率を記録しました。

住宅地の上昇率では2.9%と一宮町が県内でトップです。

昨年から上昇の傾向に転じ、さらに上昇率を上げ、北海道のニセコ、長野県の軽井沢に続き、地方圏としては全国3位となりました。

一宮町

地価上昇率 全国第3位